

科 目 名	プレゼミナールⅣ	備 考
単 位 数	2 単位	

今 村 庸 一

テレビドキュメンタリー番組の基礎

1. 講義内容

本ゼミでは、映像・音響メディアコースの基礎として、テレビ番組が制作されるまでのプロセスについて学習する。今回は、テレビドキュメンタリー番組を取り上げる。テーマは、日本を代表するマンガやアニメの制作者を取り上げた番組を見ていく。ドキュメンタリー番組の制作者にはどのような職業があるのか、どのような歴史の変遷を経て現在に至っているのか、将来、その分野に就くには何が必要なのか。現場の実例を紹介しながら授業を進めていく。学生は、授業に参加することで、番組制作の基礎知識を学ぶとともに、学生同士のコミュニケーション能力を高めていくのも、この授業の目標になる。

2. 到達目標

この授業では、テレビ番組の制作事情の基礎を学ぶが、まずは現状の理解力や情報収集能力を高めることで基礎的な力を身につける。そして、視聴者の受け身の立場からではなく、番組制作者の立場から論理的・多面的思考力を得るようにすることを目標としたい。

3. 関連科目

マルチメディア論、映像文化論、アニメーション文化論、マスメディア論、映像情報論、映像制作実習、ほか

4. テキスト・参考書等

- ・今村庸一『映像情報論』2003年 丸善
- ・碓井広義『テレビの教科書』2003年 PHP 研究所
- ・小田桐誠『テレビ業界の舞台裏』1994年 三一書房
- ・純丘曜彰『人気テレビ番組の文法』2006年 フィルムアート社 ほか

5. 授業外における学習方法

映像作品を制作する、イメージを言語で表現する能力が大切である。授業の内容に応じて、基礎学力と言語能力や、文章力、表現力などを養っていくことが必要である。

6. 成績評価方法

授業への出席状況(40%)、参加の仕方や態度、学習の密度、課題の理解度や達成度(30%)、発表やレポート(30%)などをみて総合的に評価する。

授 業 計 画			
第1回	授業の概要説明	第9回	日本マンガ・アニメ史 宮崎駿 2
第2回	テレビドキュメンタリーの基礎知識 1	第10回	日本マンガ・アニメ史 宮崎駿 3
第3回	テレビドキュメンタリーの基礎知識 2	第11回	テレビドキュメンタリーの基礎技術 1
第4回	日本マンガ・アニメ史 トキワ荘の青春	第12回	テレビドキュメンタリーの基礎技術 2
第5回	日本マンガ・アニメ史 手塚治虫 1	第13回	日本マンガ・アニメ史 浦沢直樹 1
第6回	日本マンガ・アニメ史 手塚治虫 2	第14回	日本マンガ・アニメ史 浦沢直樹 2
第7回	日本マンガ・アニメ史 手塚治虫 3	第15回	まとめと展望
第8回	日本マンガ・アニメ史 宮崎駿 1		